

杨国才

龚有德 编著

少数民族生活方式

●生活方式丛书

●生活方式丛书

●生活方式丛书



甘肃科学技术出版社

序

我国各族人民经过了长期的痛苦探索，付出了高昂的代价，终于实现了伟大的觉醒，明确地认识到了我国还处在社会主义初级阶段，我们振兴中华的根本任务是要建立和完善社会主义的商品经济体系。全力发展社会生产力，在这个前提下并围绕着这个中心去从事物质文明和精神文明的建设。改革和开放已成为不可逆转的历史潮流。社会生活的一切方面都正在经历着前所未有的深刻变化。在过去那种封闭落后的经济关系和被压抑的生产力状况下不可避免的许多陈腐的生活方式和与之相适应的陈腐的观念，已日益显示出它们与建立社会主义商品经济和发展社会生产力的要求严重矛盾的本性，因而受到理所当然的冲击，这是极大的好事。中国亿万人民再也不能“照旧”生活下去了。于是，究竟什么是适应时代需要的合理的生活方式，就被作为一个迫切需要作出理论解释的问题摆在全国人民、特别是理论工作者面前了。只有对这个问题进行多方面的理论研究，作出科学的说明，才能使人以正确的标准和新的规范对待这个复杂的问题，才不会在变革的浪潮中丧失清醒的判断力，或者把阻碍生产力发展的陈旧的东西当作神圣不可侵犯的“原则”来加以维护，或者把某些貌似新颖实则腐朽的东西当作“新”东西来加以提倡。在这种情况下，《生活方式丛书》的出版，正好适应了当前的社会需要，是

值得重视的。

党的十二届三中全会《决定》指出：“经济体制的改革，不仅会引起人们经济生活的重大变化，而且会引起人们生活方式和精神状况的重大变化。……在创立充满生机和活力的社会主义经济体制的同时，要努力在全社会形成适应现代生产力发展和社会进步要求的文明的、健康的、科学的生活方式，摒弃那些落后的、愚昧的、腐朽的东西，要努力在全社会振奋起积极的、向上的、进取的精神，克服那些安于现状、思想懒惰、惧怕变革、墨守陈规的习惯势力。这样的生活方式和精神状态，是社会主义精神文明建设的重要内容，是推进经济体制改革和物质文明建设的重要内容，是推进经济体制改革和物质文明建设的巨大力量。”《生活方式丛书》根据这些精辟的论断对生活方式问题的各个方面进行了理论联系实际的研究和论述，作为一种率先的尝试，是有一定的开拓意义的。这套丛书的作者（其中大多数是中青年理论工作者）思想活跃，勇于探索，在生活方式研究方面有所专长。他们有的偏重于闲暇生活方式研究，有的偏重于消费生活方式研究，有的偏重于老年生活方式研究，有的偏重于妇女生活方式研究，有的偏重于少数民族生活方式的研究，……这就有可能使这套丛书从各个不同的侧面对我人民的现实生活及其变革进行广泛的探讨。这套丛书注重将中国生活方式同外国生活方式加以横向比较；将我国过去的生活方式同现代的生活方式加以纵向比较；最后落脚到今天如何变革生活方式，如何建设具有中国特色的社会主义生活方式。这无疑会给予读者许多有益的启示。

《生活方式丛书》在内容和风格上也有自己的独到之处，她文字活泼、内容新颖，力图熔理论性、知识性、趣味性、通俗性于一炉，是值得一读的好书。当然，作为一套探索性的丛书，难

免会有不足之处。我相信，这套丛书出版之后，将会引起读者的广泛兴趣，得到读者的支持和帮助，从而不断完善，同时也会使生活方式的理论研究更加活跃起来。

陶德麟

1988年8月于武汉大学

目 录

引 论.....	(1)
第一章 生产活动方式.....	(3)
一、采集.....	(3)
(一) 采集植物.....	(4)
(二) 采集小动物.....	(6)
二、渔猎.....	(7)
(一) 捕鱼虾.....	(8)
(二) 猎禽兽.....	(9)
三、畜牧.....	(13)
(一) 养狗.....	(14)
(二) 养牛羊.....	(14)
(三) 养马 养骆驼.....	(15)
(四) 养驯鹿.....	(16)
四、农耕.....	(17)
(一) 刀耕火种.....	(17)
(二) 轮歇耕作.....	(18)
五、编织、纺织、制陶.....	(20)
(一) 编织.....	(20)
(二) 纺织.....	(21)

(三) 制陶	(23)
第二章 交换贸易方式	(25)
一、物物交换	(25)
(一) 馈赠式交换	(26)
(二) 贸商式交换	(27)
(三) 协商式交换	(28)
二、奇特的货币	(29)
(一) 贝币和石币	(30)
(二) 牲畜货币	(31)
(三) 农产品货币	(33)
三、集市贸易	(33)
(一) 互市	(33)
(二) 商品经济的发展	(35)
第三章 饮食起居方式	(38)
一、饮食	(38)
(一) 食料	(39)
(二) 饮料	(40)
(三) 食法	(44)
二、居住	(48)
(一) 居住地点	(49)
(二) 房屋构造	(50)
(三) 居住布局	(53)
三、交通	(55)
(一) 陆上交通	(56)
(二) 水上交通	(57)
(三) 河上交通	(59)

(四) 雪上交通	(60)
(五) 漠上交通	(61)
第四章 穿着打扮方式	(62)
一、穿戴	(63)
(一) 以树皮为衣	(63)
(二) 以兽皮为衣	(64)
(三) 以织物为衣	(65)
(四) 帽	(67)
(五) 鞋	(69)
二、装饰	(70)
(一) 头饰	(70)
(二) 项饰	(73)
(三) 腰饰	(75)
(四) 手饰 脚饰	(76)
三、雕题纹身	(76)
(一) 绘面绘身	(77)
(二) 纹面纹身	(78)
(三) 拔齿 钝齿 染齿	(80)
第五章 恋爱婚姻方式	(82)
一、恋爱	(83)
(一) 歌舞串奏	(83)
(二) 丢包 裹毛毡	(86)
(三) 住公房 做事	(87)
(四) 敲打 射箭 立墙 咬一口	(88)
二、婚礼	(90)
(一) 抢	(90)

(二) 逃	(92)
(三) 斗	(93)
(四) 哭	(93)
(五) 生育后的婚礼	(94)
三、家庭	(95)
(一) 血缘家庭	(95)
(二) 亚血缘家庭	(96)
(三) 对偶家庭	(98)
(四) 一夫一妻家庭	(101)
四、离异	(102)
(一) 刀劈竹筒	(102)
(二) 剪断蜡条	(102)
(三) 妻子跨夫及其它	(103)
第六章 生儿育女方式	(104)
一、生育	(104)
(一) 视为大事	(105)
(二) 视为鄙事	(106)
(三) 视为秘事 视双胎为魔	(107)
(四) 喜生女孩 恶生女孩	(108)
二、取名	(108)
(一) 连名	(109)
(二) 属相名	(111)
(三) 排行名	(112)
(四) 动植物 器物名	(113)
(五) 时间 数字 吉祥名	(114)
(六) 经名 性格特征名	(116)

三、教育	(116)
(一) 训练	(117)
(二) 考验	(118)
(三) 成年礼仪	(118)
第七章 娱乐喜庆方式	(122)
 一、歌	(122)
(一) 恋歌	(123)
(二) 婚歌	(123)
 二、舞	(125)
(一) 祭祀舞	(125)
(二) 生产舞	(127)
(三) 生活舞	(128)
(四) 动物舞	(128)
(五) 战争舞	(130)
(六) 头发舞	(130)
(七) 团腾舞	(131)
 三、节庆	(131)
(一) 人生节	(132)
(二) 农事节	(134)
(三) 年节	(135)
(四) 宗教节	(138)
 四、竞技	(139)
(一) 上刀山 下火海	(139)
(二) 赛马	(140)
(三) 斗牛	(140)
(四) 赛龙舟	(141)

(五) 摔跤	(141)
(六) 射箭	(142)
(七) 顶水	(143)
第八章 礼尚往来方式	(144)
一、相见	(144)
(一) 碰头 碰鼻	(145)
(二) 接吻 拥抱	(145)
(三) 伸手弯腰 哭 扒胸	(146)
(四) 献哈达 吻牲畜	(146)
(五) 唱歌 跳舞	(147)
二、待客	(148)
(一) 吃	(148)
(二) 喝	(152)
(三) 坐	(154)
(四) 洗澡	(154)
三、结交	(155)
(一) “打老友”	(155)
(二) “月也”	(156)
(三) 换头帕	(156)
第九章 记事表意方式	(158)
一、记事	(158)
(一) 刻木结绳记事	(158)
(二) 实物记事	(160)
二、通讯	(161)
(一) 以物通讯	(161)
(二) 以声通讯	(164)

三、示意	(165)
(一) 爱与不爱的表示.....	(165)
(二) 欢迎与不欢迎的表示.....	(167)
(三) 富有与强悍的表示.....	(168)
(四) 物有主人及其它意思的表示.....	(168)
四、契约	(171)
(一) 婚姻契约.....	(171)
(二) 借贷买卖契约.....	(172)
第十章 治丧殡葬方式	(174)
一、治丧	(174)
(一) 接气 舍口 净身.....	(175)
(二) 报丧 哭丧 舞丧.....	(177)
二、丧礼	(181)
(一) 吊唁.....	(181)
(二) 入殓.....	(182)
(三) 出殡.....	(183)
三、殡葬	(184)
(一) 土葬.....	(184)
(二) 火葬.....	(185)
(三) 风葬 树葬.....	(186)
(四) 天葬 水葬.....	(187)
(五) 塔葬 崖葬 室内葬.....	(189)
第十一章 占卜禁忌方式	(191)
一、占卜	(191)
(一) 农事占卜.....	(192)
(二) 渔猎占卜.....	(192)

(三) 盖房占卜	(193)
(四) 出远门占卜	(193)
(五) 婚姻占卜	(194)
(六) 疾病占卜	(194)
二、禁忌	(196)
(一) 生产禁忌	(196)
(二) 妇女生育禁忌	(199)
(三) 饮食起居 馈赠禁忌	(200)
(四) 说话禁忌	(201)
(五) 宗教禁忌	(202)
三、前兆迷信	(203)
(一) 梦境前兆	(204)
(二) 动物前兆	(204)
(三) 植物前兆	(205)
(四) 非生物前兆	(205)
第十二章 信仰崇拜方式	(207)
一、自然崇拜	(208)
(一) 天地日月崇拜	(208)
(二) 山石水火崇拜	(210)
(三) 动植物崇拜	(213)
(四) 生殖器官崇拜	(215)
二、祖先崇拜	(216)
(一) 氏族祖先崇拜	(217)
(二) 家庭祖先崇拜	(218)
(三) 家族祖先崇拜	(219)
(四) 民族祖先崇拜	(220)

三、图腾崇拜.....	(221)
(一) 动植物图腾崇拜.....	(221)
(二) 器物图腾崇拜.....	(225)
后记.....	(227)

引 论

近年来，少数民族的生活方式，越来越引起人们的关注。

少数民族是指多民族国家内人口居于少数的民族，也有用以指一个国家内的外来民族或从属民族。在我国，是对境内人口居于少数的55个民族的总称。现在，全世界大约有将近2000个少数民族，分布在100多个国家和地区。

少数民族的生活方式如何？他们怎样劳动生产？怎样饮食起居？怎样恋爱婚嫁？怎样礼尚往来？等等，都是大家十分关心的问题。过去，国内外民族学家、社会学家、人类学家对少数民族作过许多很有价值的调查和理论研究。不过，他们往往是从民族学、社会学或人类学的角度进行的，很少有人从整体上对少数民族的生活方式进行全方位的透视。本书将为您提供一个关于少数民族生活方式的大致轮廓、概貌。尽管这个轮廓、概貌十分粗略，对于少数民族生活方式的展示可谓挂一漏万，捉襟见肘，但对于从事生活方式研究和思考的人们以及对于关心少数民族生活的人们来说，想来不无裨益。

我国人民正在为建设文明、健康、科学的社会主义生活方式而奋斗。在这个伟大的目标中，自然包括少数民族也要形成文明、健康、科学的新型生活方式。由于自然和历史等多方面的原因，我国少数民族保留着许多独特的生活方式。其中，有些是应

当继承和发扬其民族传统的，有些是应当剔除其落后因素的。至于究竟那些需要继承发扬，那些需要改革淘汰，是一项十分浩大的工程，实在非我等之力所能企及。然而，我们期望这本小册子的问世能够引起更多的人们对这一问题的兴趣，大家一起来探讨。如能这样，就算心满意足了。

第一章

生产活动方式

生产活动是人类最基本的实践活动，是其他一切活动的基础。世界各民族根据不同的外部条件，采用对自己适应的方式，改变自然物质的形态，从而获得和改善生存的条件。马克思和恩格斯曾指出：“人们用于生产自己必需的生活资料的方式，首先取决于他们得到的现成的和需要再生产的生活资料本身的特性”。

（《马克思恩格斯选集》第1卷第25页）这就是说，生产活动方式首先取决于外界的现成条件和人们所需的生活资料。世界各国的少数民族或生活于山林荒漠之间，或居住在江河湖海之滨，自然界所提供的现成资料千差万别，他们只能根据各种不同的条件进行所需生活资料的生产和再生产，或采集、或渔猎、或畜牧、或农耕，由此繁衍生息。同时由于各国社会制度不同，少数民族生产活动方式的变革有快有慢。因此，世界各国少数民族的生产活动方式具有多样性和多层次的特点。

一、采 集

采集是人类最早的生产活动方式。人类可能在制造石器之前就已经会使用木棍或竹片采集植物的果实与块根，只是由于竹木

易腐不得见于后世，所以石器便成为人类最早工具的实证。不过石器本身也是采集的一种工具，有些少数民族至今还在用石刀挖掘块根和切割果子、嫩芽，何况石器可以用来削制竹木器，使之尖锐锋利，便于获取可食性植物和小动物。

就整个人类而言，采集已是遥远的过去。然而由于世界各地各民族的自然、地理和社会历史条件各异，许多国家的少数民族往往还不同程度地传承着采集方式。有的少数民族至今还以采集为主要生产部门；有的虽然以农业和畜牧业为主，但生产力低下，不够维持，还得靠采集来补充；有的是在闲暇时间作为一种娱乐，采些来改善伙食。从事采集的少数民族，对各种野生植物和小动物了如指掌，哪些无毒哪些有毒，哪些甜哪些酸，哪些可生吃哪些必须煮熟，他们一目了然。

（一）采集植物

野生植物是生产力较为低下的少数民族的重要食物来源。

我国东北大兴安岭地区的鄂伦春族，每到采集季节，妇女儿童便来到林中寻找可食的野生植物。遇到木耳、菌类，便随手摘取；见块根植物，便用1米长的尖木棒挖掘；找到小粒果实时，用一种由桦树皮制成的筒状刮削器把果子刮进桶中；对于长在高树上的果实，有时用木钩把果子钩下来，有时则把树砍倒后摘取。这一地区的鄂温克族妇女也经常从事采集活动。她们主要采集野果和野菜，采来的稠李子晒干后压成粉末可作调料，野葱可作菜吃。

解放前，我国云南省拉祜族支系苦聪人，每年有半年以上靠采摘野果过活。他们所采的野果有百种以上，每年1~12月都有不同的果实可采。如：1月采猴头果，长在高藤上，拳头大小，生绿熟红；2月采藤篾果，遍山都有，黄色；3月采揉揉果，味